



熊本県城南家畜保健衛生所
〒868-0042 人吉市蟹作町 1237-1
TEL : 0966-22-3814 FAX : 0966-22-3617
EMAIL : jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

4月から新メンバーでよろしくお願いたします！

谷口所長、山口主幹が令和4年3月をもって退職され、4月の人事異動により東衛生課長（阿蘇家保へ）、福田主任主事（球磨地域振興局へ）、高木主任技師（県庁畜産課へ）の3名が転出となりました。今年度は新たに5名の職員（旧所属）を迎え、以下の体制となりました。

所長：廣嶋精哉（阿蘇家保）

衛生課：課長 川邊久浩（農業大学校教授）、弓削美野里（畜産研究所）、
宮崎雄裕、坂口一成（県南広域本部）、犬童忠広

防疫課：課長 内山由香、吉川友晃、戸田美裕希（新規採用職員）

城南地区自衛防疫促進協議会：東 文江 嘱託職員：川内さとみ

山羊・羊の検査月齢が変更になりました！

山羊・羊のスクレイピーは、伝達性海綿状脳症（TSE）の一つで、牛海綿状脳症（BSE）とともに法定伝染病に指定されています。山羊や羊の脳内に異常プリオンたんぱく質が蓄積することで発症する神経性の病気で、歩様異常や沈うつ、激しい掻痒感による脱毛等の症状を呈します。BSEの発生は2010年以降認められていませんが、スクレイピーは散発的に摘発されています。この疾病は、動物性たんぱく質を介して人や他の動物に感染する危険性があり、感染防止のため、反すう動物への全ての動物由来たん白質の使用、反すう動物以外の家畜用飼料への反すう動物由来たん白質の使用は禁止されています。



また、これまでは12か月齢以上で死亡した山羊・羊を対象にスクリーニング検査を行っていましたが、R4.4.1より検査対象が18か月齢以上に変更となります。

飼養されている山羊・羊に上述の症状がみられた場合や、18か月齢以上で死亡した際は、家保まで連絡をお願いします。

豚熱（CSF）の感染が拡大しています。

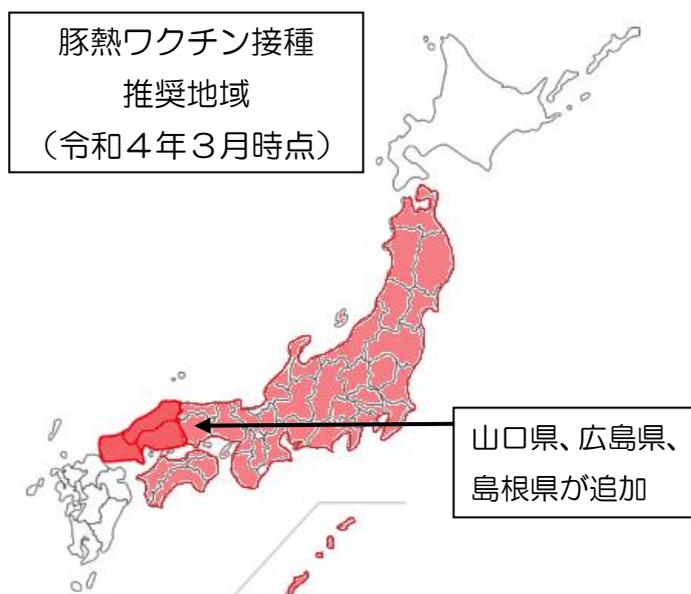
令和4年3月13日に山口県内で発見された死亡イノシシからCSFのウイルスが検出されたことを受け、令和4年3月24日に山口県、広島県、島根県の三県がCSFワクチン接種推奨地域に指定されました。また、その後も立て続けに山口・広島県内で発見、捕獲されたイノシシからCSFウイルスが確認されています。

平成30年9月に岐阜で発生が確認されてから3年以上経過していますが、未だに終息の傾向はみられず、感染の拡大が続いています。今回、初めて中国地方でイノシシからのウイルス分離が確認され、九州地方への侵入が懸念されます。野生動物対策、石灰など消毒の徹底をお願いします。

発見日	区分	発見場所
令和4年3月13日	死亡イノシシ	山口県岩国市
令和4年3月13日	死亡イノシシ	山口県岩国市
令和4年3月19日	衰弱イノシシ	山口県岩国市
令和4年3月20日	衰弱イノシシ	広島県大竹市
令和4年3月24日	死亡イノシシ	山口県岩国市
令和4年3月29日	死亡イノシシ	山口県周南市
令和4年3月30日	捕獲イノシシ	山口県岩国市
令和4年3月30日	死亡イノシシ	山口県岩国市
令和4年3月31日	死亡イノシシ	山口県周南市

山口県、広島県HPより

ウイルスはイノシシ等の野生動物の他に、人や車による伝播の可能性もあるとされています。県外、本州から移動される際は、県内、農場内にウイルスを持ち込まないように、車両等の消毒の徹底をお願いします。



近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	韓国(1件)	肉用あひる	令和4年3月2日
		韓国(32件)	野鳥	令和4年1月26日～令和4年3月22日
	H5	ロシア	家さん	令和4年3月15日
	H5N2	台湾	家さん	令和4年3月5日
アフリカ豚熱 (ASF)		韓国	野生いのしし	令和4年3月23日
		香港	野生いのしし	令和4年2月24日
		ロシア	豚・野生いのしし	令和4年2月15日

令和4年(2022年)4月1日現在